

5 その他

学生の意見

- 新型コロナウイルスの影響を考慮した防災訓練の実施内容について、動画を利用すること。(同様意見 11 件)
 - Provide video or PPT for students who are unable to participate in the exercise. (参加できなく学生に動画やスライドを提供してほしい。)
 - Providing videos of the useful locations and procedures during an emergency will be very helpful. (緊急の際に重要な場所や手順を動画にしてくれると助かります。)

現状分析

本学で年に1度行われている防災訓練は学生の参加率が低いことに対して、学勢調査ではその改善に向けた提言がなされてきました¹²。今年度(2022年度)の避難訓練は、3年ぶりに全学生・全教職員を対象に実施されました。本学での避難訓練を含めた防災訓練を知らない学生は、3年前の避難訓練時に在籍していない学生で多くいると考えられます。そこで、広報を強化することで学生への避難訓練やその内容の認知度を向上させることが必要だと考えます。今回、認知度を向上させるために、防災訓練の実施前に動画による広報告知を提言します。

本調査結果は、今年度10月の防災訓練前に実施されたもののため、アンケート結果は規模を縮小して行った2021年10月の防災訓練での体験を反映しています。2021年度の防災訓練は、避難訓練を行わない総合訓練と、任意参加の個別訓練が行われました。図5-1.1は、2021年の防災訓練の参加内容の結果です。60%以上の学生が安否確認メールに対応していたものの、どの在籍課程においても参加しなかった学生が10%程度いることが見受けられます。また、防災訓練に参加しなかった理由として「知らなかった」の割合が学士課程で50%以上、博士後期課程でも25%以上と多いことが分かります(図5-1.2)。特に研究室に所属していない学生の多い学士課程では、「何をすればよいのか分からなかった」という割合とともに、その傾向が顕著に見られました。

留学生について見ると、防災訓練に参加しなかった割合は留学生でない学生に比べて多く、また防災訓練に参加しなかった理由として「その時間に学内にいなかったため」というやむを得ない理由の次に「知らなかった」という学生の割合が2割以上と多くなっていることが分かります(図5-1.3(a),(b))。加えて、新型コロナウイルスの影響を考慮した防災訓練の実施内容の案として、留学生から情報が得られる映像や動画の提供を求める声が多く上がっていました。動画で非常時の対応や消火器の使い方を周知することは効果的と思われるのですが、実際に体験することこそが防災訓練を実施する意義だと考えます。そこで防災訓練実施前に動画による告知を行うことにより、特に地震の多くない国出身の留学生向けに防災へ興味を持ってもらい、意識を高めてもらうことができるのではないかと考えます。また、主に留学生を対象とするため、動画の言語は英語が良いと考えます。

¹ 学勢調査 2018 http://www.siengp.titech.ac.jp/gakuseichousa/2018/2018_gakusei_teigensyo.pdf (最終閲覧 2023年3月29日)

² 学勢調査 2016 http://www.siengp.titech.ac.jp/gakuseichousa/2016/2016_gakusei_teigensyo.pdf (最終閲覧 2023年3月29日)

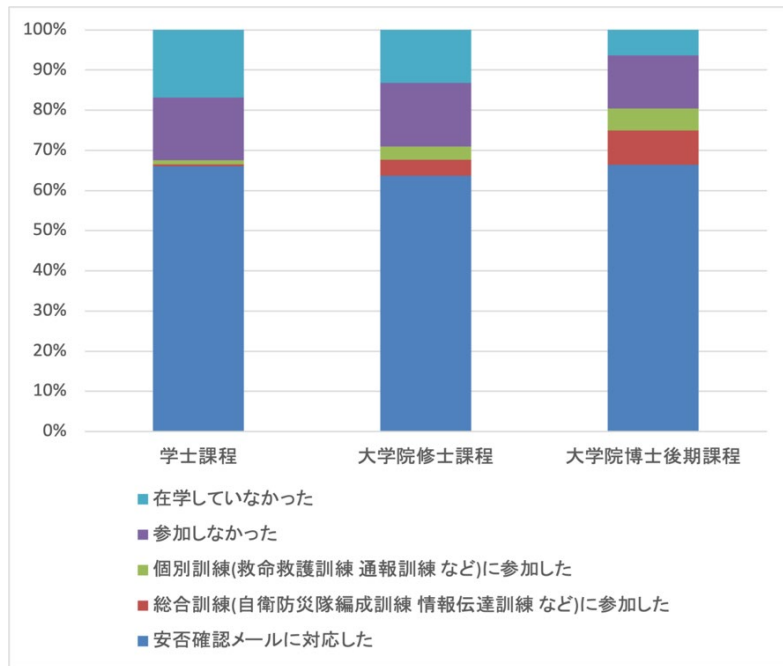


図 5-1.1 課程別の防災訓練の参加者

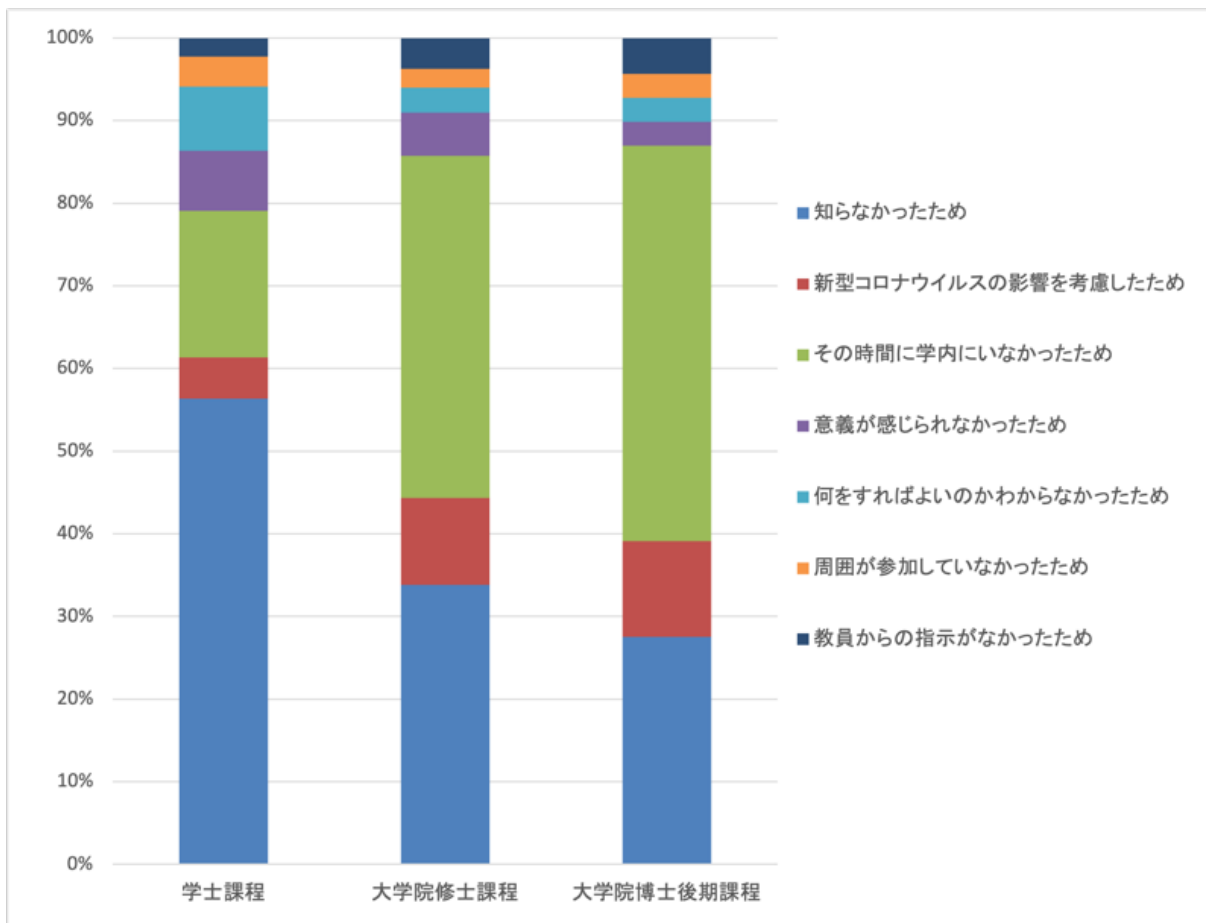


図 5-1.2 課程別の参加しなかった学生の参加しなかった理由

5 その他

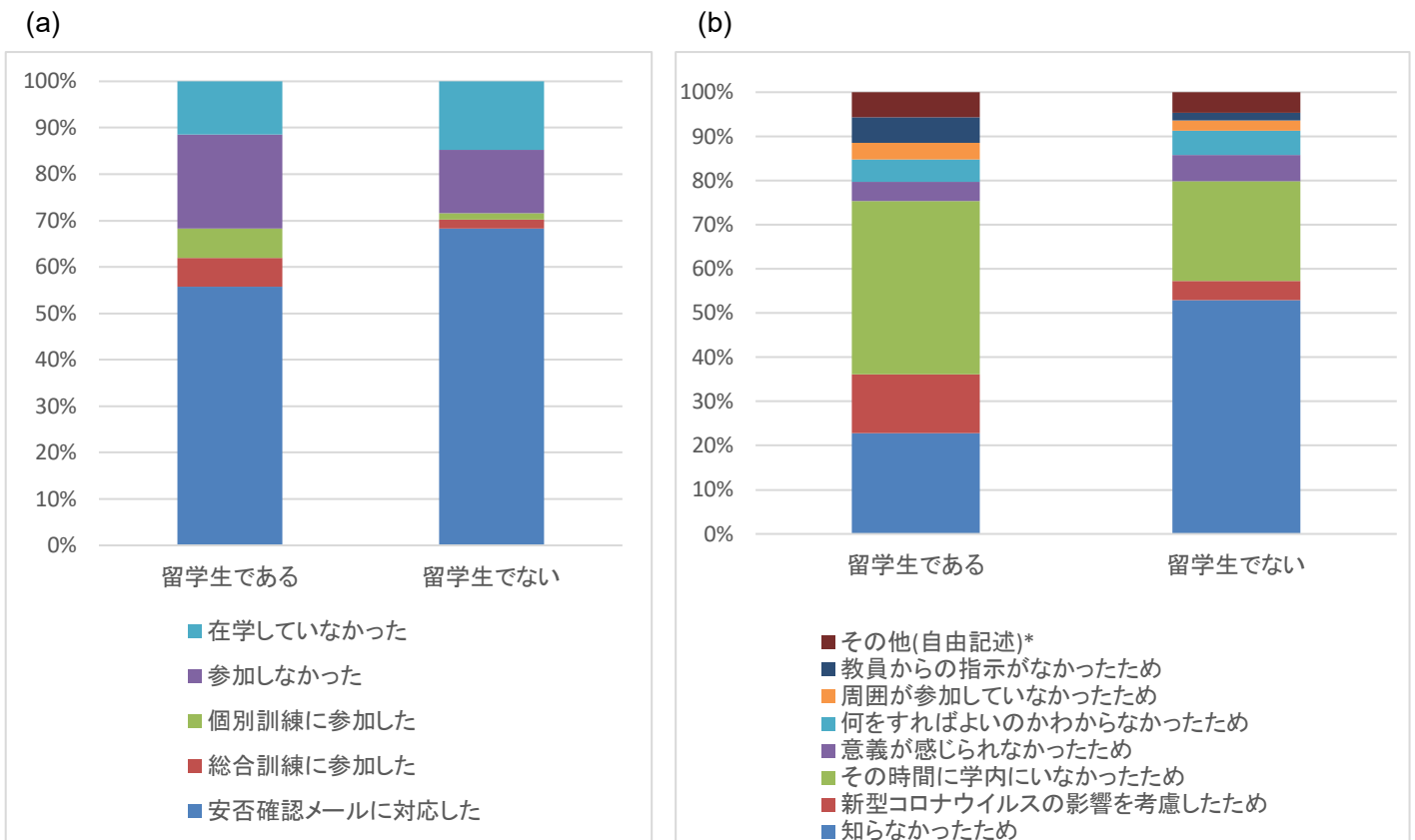


図 5-1.3 留学生と留学生ではない学生別の(a)防災訓練の参加者 (b) 参加しなかった学生の参加しなかった理由

これらの現状を踏まえ、安全企画課とのキャンパスミーティングを実施し、以下のような回答を頂きました。

- Q1.** 今年度の防災訓練の広報は具体的にどのようなようにされたのでしょうか？(SNS やメールニュースは？留学生に対しては？)
- A1.** 複数の方法で行っています。具体的には、東工大メールニュース(日本語と英語)、東工大 HP のイベントカレンダー(日本語と英語)、総合安全管理部門の部門 HP(日本語と英語)、2 週間ほど前から本館等の電子掲示板による掲示(日本語と英語)、学修コンシェルジュの LINE 公式アカウントによる配信(日本語)を行っています。広報には、共通のポスターを利用して行いました。
- Q2.** 広報の際に総合訓練や個別訓練の実施内容はどこまで周知されているのでしょうか。
- A2.** ポスター内容のまま記載しています。具体的には、総合訓練で学生がとるべき行動、個別訓練で行う訓練内容を記載して周知しています。
- Q3.** これまで防災訓練前に資料の配布や動画による告知は広報として行ったことがありますか。
- A3.** 近隣住民の方々への周知を行っています。その際にポスターを印刷して、各自治体に配布しています。学生に対しては資料の配布は行っていません。動画による告知は行っていません。
- Q4.** 防災訓練に関して現在検討中の広報手段はありますか。
- A4.** 学生の参加率がそれほど高くないことから、周知の強化が必要と感じています。動画による告知なども検討したいと思います。

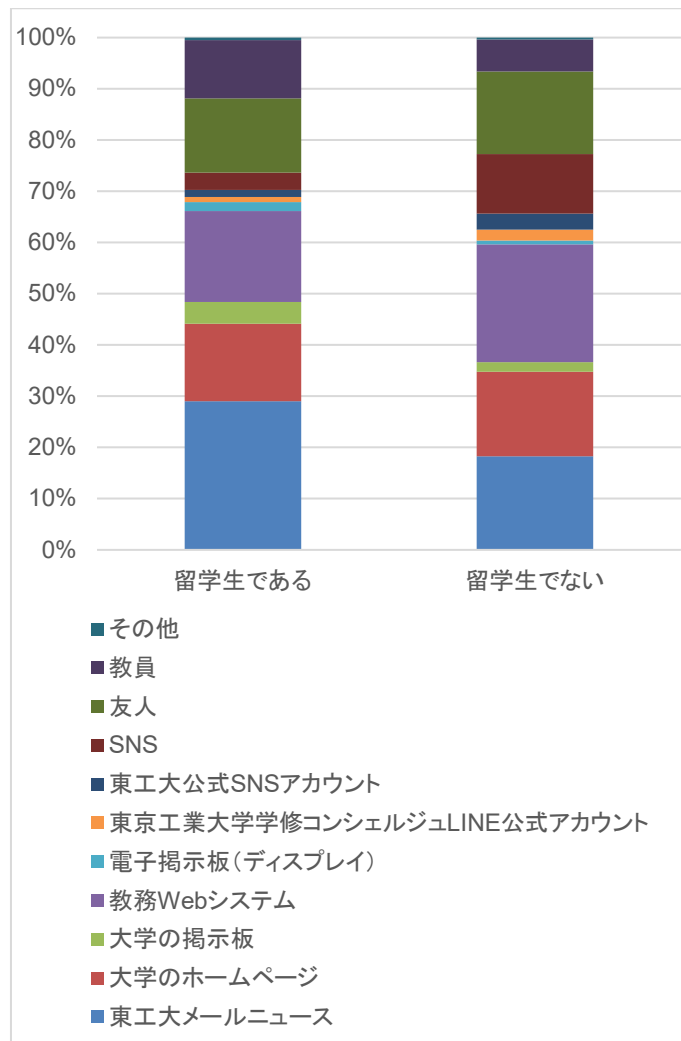


図 5-1.4 留学生と留学生ではない学生別の学生が大学の情報を得るために利用しているツール

キャンパスミーティングの回答から、東工大の HP、総合安全管理部門の部門 HP、電子掲示板による掲示、学修コンシェルジュの公式 LINE@配信で広報を行っていることが分かりました。これらは、留学生の 51%、留学生ではない学生の 40%が情報を得るために利用しているツールです(図 5-1.4)。そのため、広報の範囲として十分に行われているように感じました。それでも訓練に参加しない学生が一定数いることから、訓練参加者を増やすためには事前の印象的な周知が必要であると考えます。動画による告知はポスターの文字情報に比べて、情報が入ってきやすいという点でポスターを見るよりも情報が残りやすいと考えます。留学生が大学の情報を得るために多く利用している東工大メールニュースや大学 HP に動画を視聴してもらえるような導線を整備し、学生に周知することで、防災訓練の周知を促せると考えます。

提言

防災訓練実施前の広報強化を提言します。具体的な手段として動画による告知を提言します。

動画の内容として、防災訓練の重要性、今年度(2022年度)の防災訓練の内容、防災訓練に参加するメリットや意義などが良いと考えられますが、防災訓練を手伝っている東工大 VG(学生ボランティアグループ)や広報の強化に参加したい学生を募集し、そうした学生とともに学生の視点に立って、今後検討していくことを合わせて提言します。

Work Pod のすずかけ台キャンパスへの 設置・用途の拡大

学生の意見

- オンライン授業や就活の Web 面接などで、声を出しても良いスペースを大学内にもっと増やしてほしい。(同様意見 6 件)
 - 個人用のオンラインミーティングスペースを設置してほしい。

現状分析

Work Pod は、大岡山キャンパス Taki Plaza 地下一階に 2 台ある個室ボックスで、教務 Web で事前予約することで利用できます。利用には以下のようなルールと注意事項が定められています。

- 【WORK POD の利用ルール】¹
 - 利用用途は 1 月～7 月は就職活動の面接に限ります。8 月～12 月は就職活動全般でご利用いただけます。
 - 1 回につき最大 2 時間まで予約可能です。延長希望の際はご連絡ください。「説明」を必ず読んでからお申し込みください。
 - 同時に 2 回以上(WORK POD A/B 重複予約含む)の予約不可です。利用後に、次回の予約をいれてください。
- (注意事項)²
 - 用途は就職活動の面接に限定します。
 - ブース内は飲食禁止、定員は 1 名です。
 - 無線 LAN でのご利用となります。PC の設置はありませんので、自分でご用意ください。
 - 予約時間は延長出来ません。鍵の貸出しから返却までの時間に余裕を持って下さい。
 - キャンセルの場合は、必ずシステムでキャンセルをして下さい。貸出し時間 15 分を経過しても来ない場合は無断キャンセルとして扱い、次回から予約が出来ない場合がありますのでご注意ください。
 - 出来るだけ多くの方に、気持ちよく利用していただきたいため、マナーを守っての利用にご協力をお願いします。

今回、Work Pod の 1.すずかけ台キャンパスの設置、2.利用時期を限定した上での「個人での発声を伴う学習・研究及び教育活動」への用途の拡大、3.土日でも利用できるよう利用時間の拡大という 3 つを提言します。

- 提言の背景
 - 1.すずかけ台キャンパスの設置

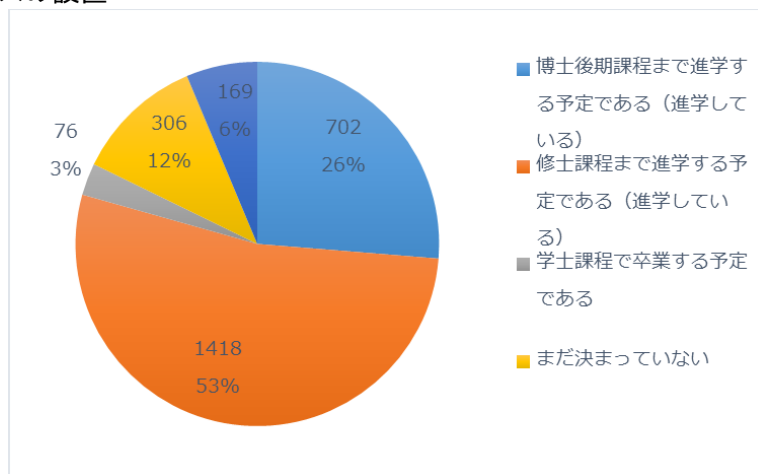


図 5-2.1 進学予定について、あてはまるものを選んでください。

¹ 教務 Web 施設予約ページ (最終閲覧:2023 年 3 月 16 日 20:42)

² 東工大 HP 「【Work pod】就職活動専用オンライン面接ブースの利用方法について」

<https://www.titech.ac.jp/student-support/students/news/2022/063720> (最終閲覧:2023 年 3 月 16 日 20:42)

図 5-2.1 は、どの課程まで進学予定かを示した結果です。この図から、学士課程で就職活動する学生が少なく、修士課程で就職活動する学生が多いことが推測されます。すずかけ台キャンパスは、大学院生が多く利用するキャンパスであることから、大岡山キャンパスと同等以上の就職活動を目的とした Work Pod の利用需要があると考えられます。

➤ 2.用途の拡大

現状、オンライン授業を受けるために講義室がいくつか解放されています。しかし、複数人が同じ講義室で別々のオンライン授業を受けることになっているため、声が出しにくい環境と言えます。

➤ 3.土日の利用時間拡大

コロナ禍になり、就職活動は対面からオンライン中心に移行しました。それに伴い、面接や説明会もオンラインで開催されることが多くなりました。面接は平日に行われることが多いものの、説明会や就職活動関連イベントは土日にある場合もあります。家のインターネット環境や防音性を踏まえて、大学でそういったオンラインの就職活動イベントに参加したい学生もいると考えられます。

● 他大学の例

➤ 東京大学附属図書館の防音ブース

◇ 2.用途の拡大¹

- 防音ブースは、個人での発声を伴う学習・研究及び教育活動に利用できます。(語学の学習やオンラインでの研究会への参加など)

◇ 3.土日祝日の利用日時拡大(図 5-2.2²)

- 2022 年 7 月より個室ブースの利用を土日祝日にも拡大しています。

➤ 信州大学個室型ワークブースの設置について³

◇ 2.用途の拡大

- 利用できるのは、**発声を伴う**、以下の用途に限ります。
 - 就職活動 面接・面談
 - 就職活動 説明会
 - 就職活動 選考用動画撮影
 - 双方向(自分が発言する)オンライン授業・ゼミ
 - 学会発表
 - オンラインインターンシップ
- 就職活動以外の教育活動での利用も認められています。

プロジェクトボックス、防音ブースの利用を土日祝日に拡大します

総合図書館 / ニュース

2022年7月22日

7月23日(土)より、試行として、土日祝日も開館中は本館2階のプロジェクトボックスと防音ブースが利用できるようになります。
8:55-10:55、10:55-12:55、12:55-14:55、14:55-16:55、16:55-18:55の5つの枠が予約できます。
(※8月の短縮開館期は16:55までとなります)
予約は明日(7月23日)の分からは可能です。引き続き会話時のマスク着用などルールを守ってご利用ください。

利用するためには事前の申し込みが必要です。利用方法や申込方法は以下のページをご確認ください。

プロジェクトボックスの利用方法

<https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/library/general/user-guide/facilities/project-covid>

防音ブースの利用方法

<https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/library/general/user-guide/facilities/sound-covid>

図 5-2.2 東京大学附属図書館の利用日時拡大のお知らせ

これらの現状を踏まえ、学生支援課とのキャンパスミーティングを実施し、以下のような回答を頂きました。

Q1. Work Pod の設置を開始した意図を教えてください。

A1. 学生から、コロナ禍で就職活動の採用面接がオンラインになったのでオンライン面接ができる場所がないか、と言われたことを受けて設置しました。Work Pod の導入前はそういった要望を持っていた学生に対して、80 年記念館の会議室や半開きのスペースの提供を行ってきました。そうした中、Work Pod が発売されましたので、予算を工面して導入に至りました。大岡山キャンパスの附属図書館には個室スペースがありますが就職活動には使えず、すずかけ台

¹ 東京大学附属図書館「防音ブースの利用方法」

<https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/library/general/user-guide/facilities/sound-covid> (最終閲覧: 2023 年 3 月 16 日 20:43)

² 東京大学附属図書館「プロジェクトボックス、防音ブースの利用を土日祝日に拡大します」

<https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/library/general/news/20220721> (最終閲覧: 2023 年 3 月 16 日 20:43)

³ 信州大学繊維学部「個室型ワークブースの設置について」

<https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/textiles/current/booth.html> (最終閲覧: 2023 年 3 月 16 日 20:43)

5 その他

キャンパスの附属図書館には就活活動にも使えるスペース(ただし完全個室ではない)が3階にあったことから、まず大岡山キャンパスへの導入を決めました。

Q2. ずずかけ台キャンパスの設置に向けて、Work Pod の需要についてお聞きします。大岡山キャンパスの Work Pod の利用率(週平均利用時間や週平均利用回数)を教えてください。

A2. 2021年11月に1台目を導入し、2022年3月から2台運用になりました。そのため、2台運用になった2022年3月以降の結果を図5-2.3に示します。月別利用回数の結果から、1週間の利用回数を計算すると、多い月では1週間で12~15回ほど予約が入っています。利用時間は最大2時間の利用であることから、1~2時間程度で利用している方が多く、平均利用時間は2時間弱ほどです。

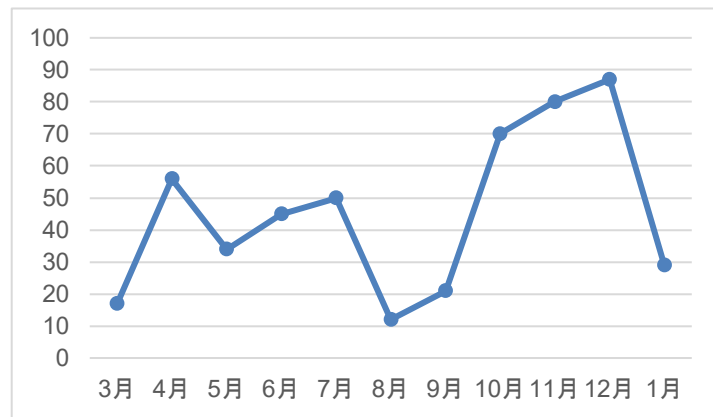


図 5-2.3 Work pod の月別利用回数

(2022年3月中旬～2023年1月17日時点)

Q3. 利用時期を限定した上での「個人での発声を伴う学習・研究及び教育活動」への用途の拡大の提言に向けて、利用を就職活動に制限している理由について教えてください。

A3. 就職活動で重要になる面接を中心に利用させてあげたいという思いから用途を限定しています。しかし、これまでの利用の様子から、面接での利用が少ないと思われる期間(9月~3月)に、Work Pod が空いていれば就職活動以外での利用もできることを検討しています。適切な利用方法でないと、面接したい時に他の用途で Work Pod が埋まってしまうという恐れがあるため、そうしたことはないように検討していこうと思っています。

Q4. 土日も利用できるよう利用時間の拡大に向けて、利用の前後に支援課の職員の方が Work Pod 内で何かしらの確認や消毒等を行っているのでしょうか。

A4. Work Pod を利用した学生が消毒を行っています。

Q5. 土日も利用できるよう利用時間の拡大に向けて、土日に利用することは可能でしょうか。

A5. 土日に外部の業者の方に窓口対応をお願いしているため、予約管理を行っている教務 Web システムを見ることができず対応が難しい状態です。また、個室ブースなので、内側から鍵をかけられる仕様になっています。そのため、本学の教職員がいない状況で、何かしらのトラブルがあった場合の対応ができないという点でも利用を拡大することは難しいです。平日の利用時間の拡大についても上記と同じ理由で難しいと考えています。

提言

Work Pod について

1. ずずかけ台キャンパスの設置
2. 利用可能時期を限定した上での「個人での発声を伴う学習・研究及び教育活動」への用途の拡大
3. 土日も利用できるよう利用時間の拡大

を提言します。

キャンパスミーティングの回答から、3については現状では実現が難しいようなので、1と2からの検討をお願いします。

1については、ずずかけ台キャンパスの設置場所として、附属図書館内もしくは併設のキャリアアドバイザールームが適切と考えます。

2については、Work Pod の利用回数の月別変化や就職活動のオンライン面接の割合の変化を考慮して、就職活動での利用が少ない時期には教育活動でも利用できるよう、用途の拡大を提言します。

学生の意見

- 生理用品を無料配布してほしい。(同様意見 2 件)

現状分析

現在、東京工業大学では大学入試で女子枠を設けるなど、女子学生を増やすことに取り組んでいます。そのために大学は、女性が過ごしやすい環境を整えることが必要不可欠になります。学勢調査 2022 では女子学生から生理用品を無料配布してほしいという意見がいくつか寄せられました。

現在、日本国内にとどまらず世界中で生理用品を女子トイレに設置するという動きが増えてきています。その背景としては、生理の貧困と呼ばれる問題が浮上してきたことが挙げられます。生理の貧困とは、一生涯で生理用品にかかる費用は約 45 万円(平均月 1000 円ほどで、初経から閉経までの期間は平均 38 年で計算)と試算されていますが、経済的貧困により、生理用品の交換頻度を少なくしたり、トイレットペーパーで代用をしたりする人がいることと、生理に対する社会的理解度の低さによって、家庭で生理用品が購入してもらえないことなどに起因した問題を指します¹。このように生理用品へのアクセス向上は多くの女性にとって重要であることがわかります。

この問題を受けて、学校の女子トイレにも生理用品を設置しようとする動きが見られています。全都立高校において、学校の保健室で用意していた生理用品を、女子トイレにて無料配布することが始まりました²。また、国内の大学においても女子トイレに生理用品を設置しようとする動きはいくつも見られ、関西で初めて設置をした龍谷大学をはじめ、早稲田大学³では生理用ナプキンを常備し無料で提供するサービス「OiTr(オイテル)⁴」の導入、中央大学⁵など多くの大学では生理用品の無料配布が行われています。また兵庫県によると、県内の大学を含めた全学校で生理用品を無料配布することが決定されました⁶。

海外の動きを見てみると、2020 年 2 月にスコットランドにて、生理用品を全国民に必要な時に無料提供する法案が可決しています。この法案によると、地方自治体はあらゆる人が生理用品へアクセスできるように法的義務を課すものでした。同年 11 月には本法律が制定されました。2017 年に世界で初めて教育機関に生理用品を無償で設置をしてから、スコットランドでは生理の貧困の問題に向き合ってきていました⁷。このような流れは世界のいくつかの国でも起こってきており、今後日本においてもさらに整備が進んでいくと考えられます。

本提言に先駆けて、本学の Taki Plaza にて生理用品のプレ設置が行われたり、すずかけ台キャンパスのある休養室にて生理用品が無料配布されていたりと関連する取り組みがいくつか見られますが、その現状は不十分であると考えています。一点目に、いくつかの女子トイレにおいては有料でしか生理用品を入手することできないため、生理の貧困の直接的な解決策になっていません。また二点目に生理用品を設置している女子トイレが圧倒的に少なく、全学生がそれらにアクセスすることは困難になっています。

¹ 厚生労働省 「『生理の貧困』が女性の心身の健康等に及ぼす影響に関する調査」結果概要：
<https://www.mhlw.go.jp/content/000919897.pdf> 2022 年 2 月 (最終閲覧日:2023 年 3 月 16 日)

² BuzzFeedNews 「保健室でナプキン手渡し→女子トイレに設置で使用は 160 倍に。学校での生理用品配布の「その後」」:<https://www.buzzfeed.com/jp/sumirekotomita/sanitarypad-school-tokyo> (最終閲覧日:2023 年 3 月 16 日)

³ 早稲田大学 「戸山キャンパスに生理用ナプキンを無料で提供するサービスを導入」:
<https://www.waseda.jp/top/news/topic/76422> (最終閲覧日:2023 年 3 月 16 日)

⁴ OiTr 「service」:<https://www.oitr.jp/service/>

⁵ 中央大学 「中央大学のキャンパス内で生理用品の無料配布を開始しました」:<https://www.chuo-u.ac.jp/aboutus/communication/press/2022/03/59644/> (最終閲覧日:2023 年 3 月 16 日)

⁶ 神戸新聞 NEXT 「生理用品の無料配布 兵庫県内の全大学、私立学校にも拡大へ 県補正予算案に関連経費」:
<https://www.kobe-np.co.jp/news/sougou/202302/0016056904.shtml> (最終閲覧日:2023 年 3 月 16 日)

⁷ CNN 「スコットランド、全土で生理用品を無料提供 世界初の法案可決」:<https://www.cnn.co.jp/world/35162894.html> (最終閲覧日:2023 年 3 月 16 日)

5 その他

これらの現状を踏まえ、学生支援課(生活支援グループ)とのキャンパスミーティングを実施し、以下のような回答をいただきました。

Q1. Taki Plaza に仮設置されたのにはどのような経緯があったのでしょうか？

A1. 現在建設中の第一食堂のトイレの設置に関して、アクセシビリティが向上するような新たな取り組みを検討していたところ、本学のとある学生から、女子トイレにて生理用品を無償配布している取り組みがあるという話を聞いたのがきっかけでした。その後の話し合いの中で、学生にどれほど需要があるのかを調査したいという考えに基づき、一番継続的に利用者の多い Taki Plaza に生理用品をプレ設置して、学生の動向を調査しようとした経緯があり、設置することになりました。

Q2. Taki Plaza にプレ設置をしていましたが、今後拡大していく予定はありますか？また継続する予定はありますか？

A2. 仮設置したもののフィードバックを踏まえて、新入生が入学してくる4月ごろに二回目のプレ設置を行おうと考えています。拡大の予定は今のところ未定ですが、利用者の多い女子トイレを中心に検討していくつもりです。

Q3. 現在、どこかで生理用品をもらえるところがありますか？

A3. 緊急の場合は保健管理センターでもらうことが可能です。

提言

1. 大学構内の主要施設の女子トイレに生理用品を設置する

- 大岡山キャンパスだけではなく、緑ヶ丘地区、石川台地区、すずかけ台キャンパス、田町キャンパスにも設置する。特に、すずかけ台は女子学生の比率が相対的に高いため、生理用品の設置を急務で進める。
- 生理用品へのアクセスを高めるために、人を通して生理用品を受け取るのではなく、誰でも気軽に生理用品を利用できる環境を整備する。

学生の意見

- 東京大学の「高校生と大学生のための金曜特別講座」と類似の公開講座を開講してほしい。(同様意見 2 件)
- 履修の関係上講義を取ることができない先生や興味のある分野で著名な先生の講座を聴講したい。(同様意見 13 件)
- 他分野の最先端の研究の話を聞きたい。(同様意見 2 件)

現状分析

現在、本学においても研究室や教員が主体となって開催している講座やセミナーなどはいくつか存在していますが、その対象は基本的に大学生以上となっています。またそれらの公開講座やセミナーなどは、東京工業大学のホームページ¹に一覧として記載されていますが、そのページでは大学内で開催されているすべての講座を網羅しているわけではありません。

学生側の意見として、カリキュラムにある講義以外で興味のある分野の講座を開講してほしいと考えている人が一定数存在していましたが、今までカリキュラム以外で学生に向けて講義を行ったり、それを受講したりできる仕組みは現状ほとんどありません。

2024 年度に行われる東京工業大学と東京医科歯科大学の大学統合に際して、学際的な学修を推進していく中で、異分野交流の場が必須であると考えています。大学統合によって実現される両大学間の取り組みとして現段階で公開されているものはまだあまりありませんが、その取り組みの先駆けとして活用できると考えられます。

本学学生の意見ではありませんが、本学を志望する高校生を対象とした学校説明会では、大学全体の概要の説明と各学院でどのような教育や研究が行われているかのアウトラインの紹介はされていますが、実際に、東京工業大学に進学するとどのような研究ができるのか、どの学院や系に行けば自分のやりたいことができるのか、といった具体的な中身を知ることは比較的困難になっています。一方昨年度 8 月に行われた取り組みとして「東工大 Web 体験講座」²が挙げられます。この講座は各学院から 6 人の教員が 1 コマずつ講義を担当し、東京工業大学で学ぶということを実際に体験できます。これは本学の HP 上に公開されており、検索すればだれでも視聴することが可能となっています。しかし講座数はまだ少なく、内容も限られており、具体的な研究内容などを理解するにはこの取り組みのみでは不十分であると考えています。

他の大学での公開講座の代表例として、東京大学で開講されている「高校生と大学生のための金曜特別講座」が挙げられます。これは、高校生や大学生に向けた初学者でもわかりやすいような研究や専門分野の話をする毎週連続の公開講座です。この公開講座は、近隣の高校からの要望を受けて、初めは高校生向けの土曜特別講座として開講し、ほどなく 2 年次からの進路選択に悩む大学生も対象になりました。そこからいくつかの段階を経て、現在では一般の方も聴講が可能となっており、毎週金曜日の 17 時半から 19 時までの 90 分間を使って様々な講義が行われています。残念ながら現在は新型コロナウイルス感染症の影響でオンラインでの開講となっていますが、以前は駒場東大前駅にある東京大学の駒場キャンパスにて行われていました³。

¹ 東京工業大学「イベントカレンダー」：<https://www.titech.ac.jp/event>（最終閲覧日：2023 年 3 月 26 日）

² 東京工業大学「高校生・受験生向け『東工大 Web 体験講義』開講」：<https://www.titech.ac.jp/news/2021/061553>（最終閲覧日：2023 年 3 月 26 日）

³ 東京大学「高校生と大学生のための金曜特別講座」：<https://high-school.c.u-tokyo.ac.jp/>（最終閲覧日：2023 年 3 月 26 日）

5 その他

以上を踏まえ、教務課とのキャンパスミーティングを実施し、以下のような回答をいただきました。

Q1. 東京工業大学の知名度を上げるための広報活動の一環としても活用できると考えていますが、公開講座の実現可能性はどのくらいありますか？

A1. 現状、教務課としては特に予定はありません。

Q2. 個別で行っている講演やセミナーを把握している部署などは存在していますか？

A2. 現状、そのような部署は存在しておらず、大学の HP にまとめているものに限って把握しています。

Q3. 個別の講座を一般に公開するための手続きなどはありますか？

A3. 手続きは特に存在しません。一般の方は自由に出入り可能となっています。

提言

提言 1) 毎週連続で各学院が持ち回りの高校生と大学生向けの公開講座の開講

- 本講座の対象者は高校生と大学生が基本だが、地域の方やその他の一般の方も聴講可能にする。
- レベルとしては大学の学士 1, 2 年生を想定した講義で、高校生にとっては高校の科目を越えた少し背伸びをして聴講したい内容であり、大学生にとっては初めて触れる分野であれば基本の導入部分や概要をつかめるような内容構成であり、一般の方にとってはある程度の基礎知識があれば理解できかつ専門的で最先端の研究の話聞けるような内容とする。
- 公開講座のやり方としては、平日の夕方(東大に倣って金曜日の 17 時ごろが好ましいか)に 1 時間程度、70 周年記念講堂などを利用する。講義を行う教員については、リベラルアーツ研究教育院を含めた 7 学院の隔週持ち回りで、教員の研究分野の基礎知識や、自身の研究してきた内容、その分野の最先端の研究の紹介などを行う。
- 2024 年度に東京工業大学と東京医科歯科大学の大学統合が予定されており、両大学の学生交流や分野横断的な専門的知識の理解を深めるためにも、重要な取り組みであると考えられる。大学統合は、東京医科歯科大学の教員にも講座を担当していただき、両学生が互いの分野を学ぶ場となることが期待される。
- 東京工業大学の強みの一つとして、最先端の研究を行っている教員が多数存在していることが挙げられる。この公開講座を通して、教員の研究内容を広く社会に認知されることが予想され、昨今では社会的賛同が必要不可欠な大学の取り組みを学外の方に知ってもらえる場にもなると考えられる。また高校生も本講座の対象とすることで、未来の優秀な学生と教員間のつながりの形成やコミュニケーションの強化、そして新たなアイデアの創出なども期待できる。

提言 2) 現在個別で行っている公開講座の情報を本学の HP 上に集約・広報活動の推進、強化

- 提言 1 の公開講座の前段階として、各研究室や教員がすでに行っている公開講座に本学学生や高校生、その他地域の方々などがさらに参加しやすくなるように、公開講座を開講する際に本学の HP 作成の担当部署(広報課など)に連絡をして情報を反映する。東京工業大学の全公開講座が一つのページ上で閲覧できるようにする。